

法

41

取
引
所
條
例
私
案

301054-000-7

法-41

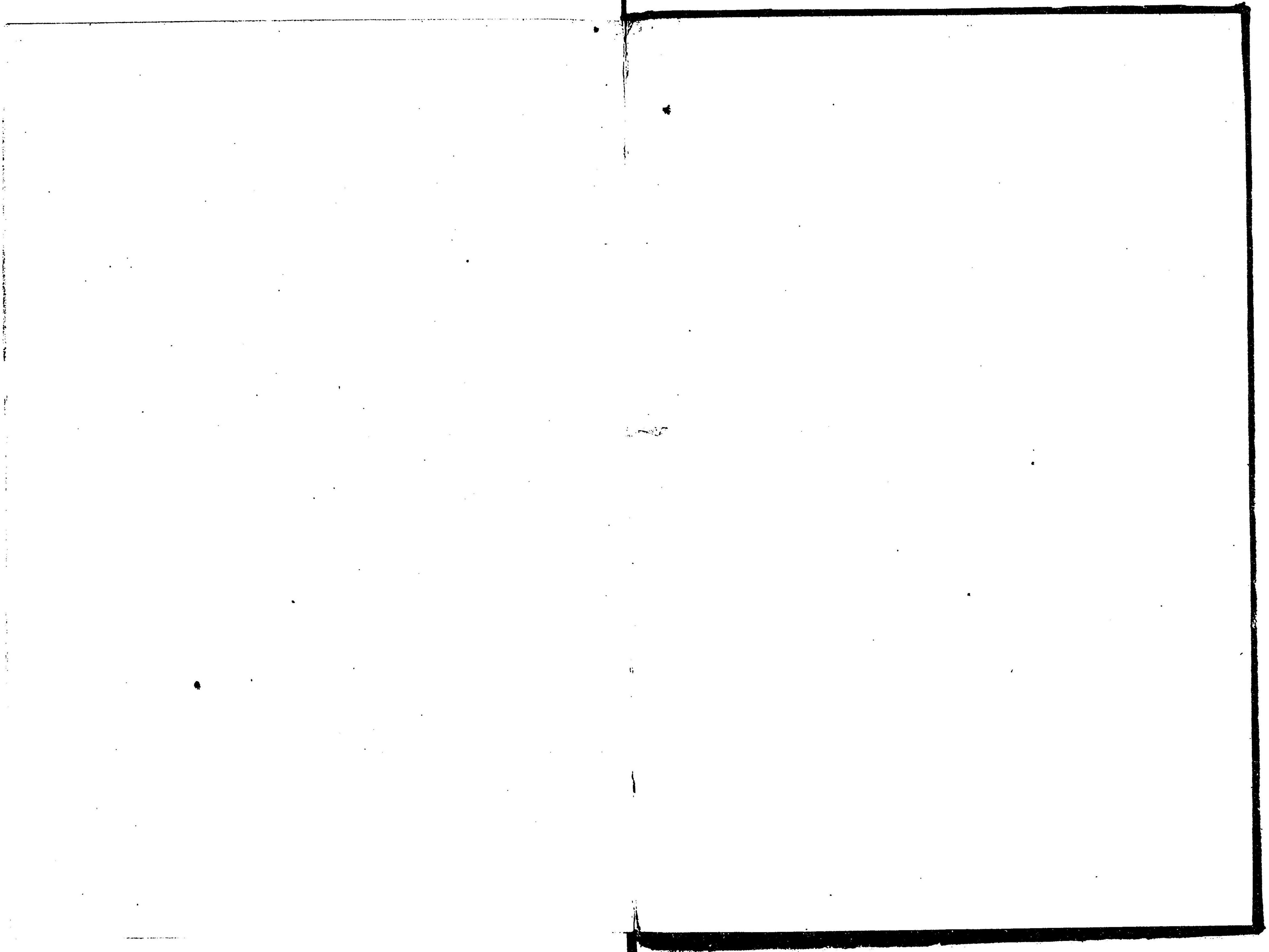
取引所條例私案

取引所期成同盟會／編

M25.12

BDM-0001



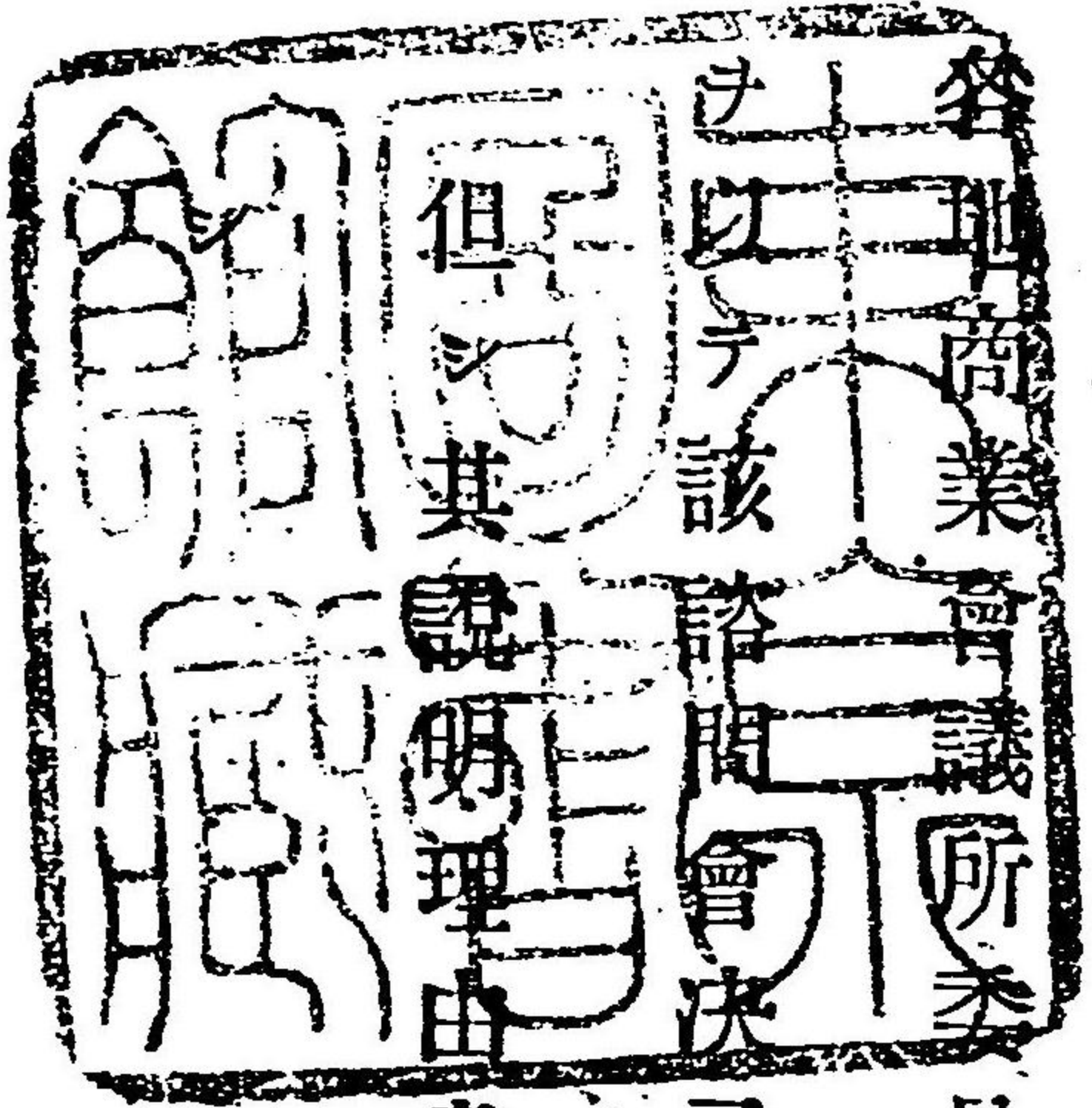


18.33
10/18/26/XXV

取引所期成同盟會第二回報告

本會ハ曩ニ取引所條例得失論トシテ第一回ノ報告ヲナシ爾來引續取引所條例改正ノ必要ヲ感シ調査ニ從事セシ處本會ノ意見ハ今回農商務省

谷地商業會議所委員諮問會ニ於テ決定シタル趣旨ト聊カ異ナル處ナキ
ヲ以テ該諮問會決了案ヲ以テ本會ノ意見ニ代フ



但シ其說明理由書ハ之ヲ第三回報告トシテ不日報道スルコトアルベ

取引所條例私案

第一章 取引所ノ設立及ビ解散

第一條 賣買取引ノ盛ナル地區内ノ商人ハ政府ノ免許ヲ受ケテ一種若ハ數種ノ物件ノ取引所ヲ設立スルコトヲ得
取引所ノ解散ハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第二條 同種ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ハ一地區一個所ニ限り設立スルコトヲ得
第三條 取引所ノ免許年限ハ二十個年以内トス但シ土地商業ノ情況ニ依リ更ニ繼續ノ出願ヲ免許スルコトアルベシ
第二章 取引所ノ組織

第四條 取引所ハ土地商業ノ情況及ビ賣買取引スヘキ物件ノ種類ニ由リ會員組織又ハ株式會社組織トナスコトヲ得

第五條 會員組織ノ取引所ニ於テハ其ノ取引所ノ仲立人及ビ會員ニ限

リ賣買取引ヲナスコトヲ得

株式會社組織ノ取引所ニ於テハ其ノ取引所ノ仲立人ニ限り賣買取引ヲナスコトヲ得

第六條 取引所ハ法人トシテ財産ヲ所有シ之ヲ處分スルコトヲ得但シ其ノ責任ハ取引所ノ財産ニ限ル

第七條 取引所ノ定款ハ政府ノ認可ヲ受ク可シ

第八條 取引所ノ資本金、營業保證金、株式、手数料、積立金及ビ取引所ノ組織ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三章 取引所ノ會員、株主及ビ仲立人

第九條 取引所設立ノ府縣内ニ於テ一箇年以上其ノ取引所ノ營業部類ニ屬スル商業ニ從事シタル商人ハ定款ノ規程ニ從ヒ其ノ取引所ノ會員トナルコトヲ得

二ヶ年以上其ノ取引所ノ營業部類ニ屬スル商業ニ從事シタル商人ニ

シテ年齢二十五歳以上ノ者ハ政府ノ免許ヲ受ケ其ノ取引所ノ仲立人トナルコトヲ得但シ仲立人ノ家督相續人ハ成年者ニ限り特ニ仲立人タル免許ヲ受クルコトヲ得

一種ノ商業ニツキ前項ノ資格ヲ有スル者ハ土地商業ノ情況ニ依リ二種以上ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ノ仲立人タル免許ヲ受クルコトヲ得

第十條 外國人ハ取引所ノ會員、株主又ハ仲立人トナルコトヲ得ズ

婦女未成年者公權被褫奪者、被停止者破産未復權者及ビ取引所ニ於テ除名ノ處分ヲ受ケタルモノハ取引所ノ會員トナルコトヲ得ズ但シ婦女又ハ未成年者ハ其代理人又ハ後見人ヲシテ會員トナスコトヲ得

重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ信用ヲ害スル罪、財産ニ對スル罪、商業及ビ農工業ヲ妨害スル罪ヲ犯シテ刑ニ處セラレ其滿期若クハ赦

免後未ダ二年ヲ經ザル者及ヒ前項ニ該當スルモノハ取引所ノ仲立人トナルコトヲ得ズ

第十一條 取引所ノ會員ハ自己ノ計算ヲ以テスルノ外取引所ニ於テ賣買取引ヲナスコトヲ得ズ

仲立人ハ自己ノ計算ヲ以テ賣買取引ヲナスコトヲ得ズ但シ委托者ノ違約ニ依リ引受クル場合ニ於テハ此ノ限ニアラズ

第十二條 取引所ノ仲立人ハ其免許ヲ受クル時免許料ヲ納ムベシ、免許料ノ金額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 取引所ノ會員及仲立人ハ身元保證金ヲ其取引所ニ納ム可シ

第十四條 取引所ハ其秩序ヲ保持スルカ爲メ定款ノ規定ニ依リ會員又ハ仲立人ノ營業ヲ停止シ二百圓以内ノ過怠金ヲ科シ且ツ政府ノ認可ヲ受ケ會員又ハ仲立人ヲ除名スルコトヲ得

第四章 取引所ノ役員

第十五條 取引所ハ會員又ハ株主中ヨリ二ケ年以内ノ任期ヲ以テ左ノ役員ヲ選舉シ政府ノ認可ヲ受ク可シ

但理事長及理事ハ會員ニアラザルモノヲ選舉スルモ妨ゲナシ

理事長

一人

理事

二人以上

監査役

若干人

第十條第三項ニ該當スルモノハ取引所ノ役員トナスコトヲ得ズ

第十六條 取引所ノ役員及ヒ其ノ使用人ハ取引所ニ於テ賣買取引ヲナスコトヲ得ス但シ監査役ハ此ノ限ニアラズ

第五章 取引所ノ賣買取引

第十七條 取引所ノ賣買取引ハ直取引、延取引及ヒ定期取引トス其方法ハ農商務省令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 取引所ハ其ノ定款ニ依リ賣買取引ニツキ證據金ヲ納ムベシ

ルコトヲ得

六

第十九條 取引所ハ賣買取引ノ責任ヲ履行セザル者アルトキハ其證據金及ヒ身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第二十條 株式會社組織ノ取引所ハ賣買取引ノ違約ヨリ生スル損害ニツキ賠償ノ責ニ任スベシ

前項ノ場合ニ於テ取引所ハ其賠償シタル金額及ヒ之ニ關スル諸費ノ追償ヲ其ノ違約者ニ要求スルコトヲ得

第二十一條 取引所ハ賣買取引高ニ應シ賣買双方ヨリ手数料ヲ徴收スルコトヲ得但シ其率ハ政府ノ認可ヲ經ベシ

第二十二條 取引所ハ證據金及ヒ身元保證金ニツキ他ノ債主ニ對シ優先權ヲ有ス

第二十三條 取引所外ニ於テ取引所ノ定期取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲナスコトヲ許サズ

第二十四條 市場ノ体裁ヲナシ取引所ノ延取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲナサント欲スル者ハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第二十五條 取引所ニ於テ賣買取引シタル物件ノ相場ヲ以テ公定相場トスベシ

第六章 取引所ノ監督

第二十六條 農商務大臣ハ取引所ノ行爲法律命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ左ニ掲クル處分ヲ施行スルコトヲ得

- 一 取引所ノ解散
- 二 取引所ノ停止
- 三 取引所一部ノ停止若ハ禁止
- 四 役員ノ解職
- 五 會員又ハ仲立人ノ營業停止若ハ除名

第二十七條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ官吏ヲシテ取引所ノ業務帳簿財産其ノ他一切ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ取引所ノ役員ハ其ノ物件ヲ提供シ質問ニ應答スベシ

第二十八條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ取引所ノ定款ヲ改正セシメ又ハ其ノ決議及ヒ處分ヲ停止シ禁止シ若ハ取消スコトヲ得

第七章 罰則

第二十九條 第十一條第十六條ノ規定ニ違背シタル者ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 第二十三條第二十四條ニ違背シタル者及ヒ公定相場ヲ偽リタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八章 附則

第三十一條 本法施行ノ細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第三十二條 本法ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

明治九年布告第百五號米商會所條例明治十一年布告第八號株式取引所條例及ヒ明治二十年勅令第十一號取引所條例ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第三十三條 本法發布以前ヨリ營業スル米商會所株式取引所及ヒ取引所ハ本法ニ依リ更ニ免許ヲ受ケ其營業ヲ繼續スルコトヲ得但シ本法施行ノ日ヨリ少クモ三ヶ月以前ニ於テ出願ノ手續ヲナサルモノハ之ヲ繼續スルコトヲ得ズ

明治二十五年十二月十日印刷
全年全月全日出版

(非賣品)

編纂者

東京市京橋區加賀町九番地
取引所期成全盟會

谷嶋作太郎

發行者

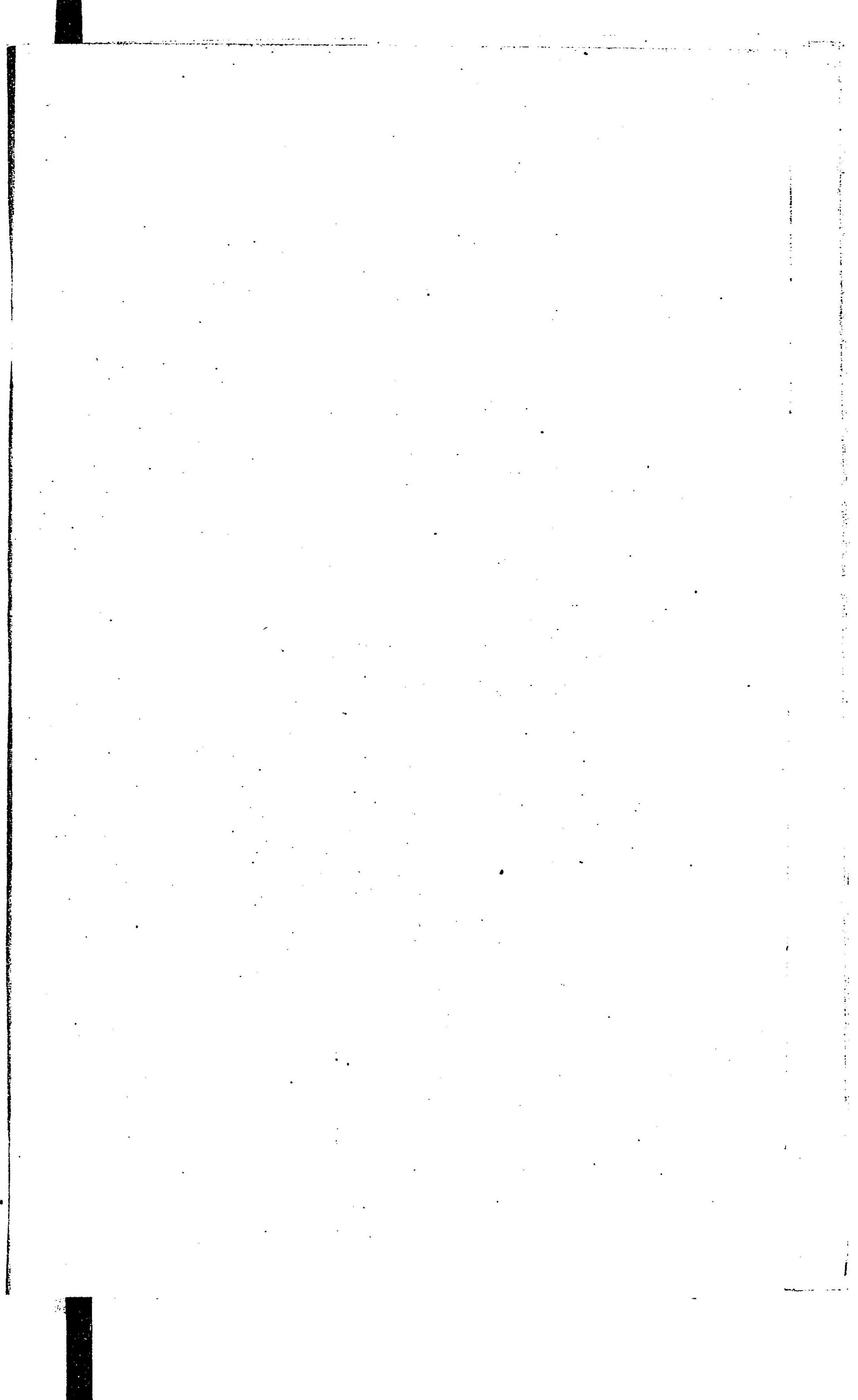
東京市京橋區日吉町廿番地
帝國通信會社

小林守道

印刷者

東京市京橋區瀧山町七番地
瀧關舍

嶋田用定



法
41

